

## 各「取り組み」の説明(要約版)

取 組	内 容
アクティブラーニング	一方的に講義を聴くスタイルの授業ではなく、学生が積極的に学修に参加することを取り入れ、能動的(アクティブ)な学びを促すことで、知識をしっかりと定着させることを目的とした学習方法。
アセスメントポリシー	学生の学修成果の評価(アセスメント)について、目的や達成すべき質的水準と具体的な評価の実施方法などについて定めた学内の方針を活用した取り組み。
インターンシップ (学びの支援)	自らの専攻や将来のキャリアに関連した就業体験や社会貢献活動に参加する制度を授業やカリキュラムに取り込むことで、学生が学問や研究分野への理解をより深めるための取り組み。
インターンシップ (進路選択教育の取り組み)	進路指導として学生の就業体験や社会貢献活動への参加を制度化し、学生が自らの適性や将来のキャリア、業種や職種等に対する理解を深めたうえでの進路選択を実現するための取り組み。
外国人教員雇用・派遣受入	外国人教員を雇用したり、外国の学校と協定などを結んで派遣してもらった外国人教員を受け入れて、教育や研究活動をさせる取り組み。
外国人留学生受入	国際交流の活性化や教育の活性化を図ることを目的として、制度的に海外からの留学生を日本の大学・短期大学等に受け入れる取り組み。
海外留学、スタディ・アブロード	日本の学生が海外の学校で学ぶときに、短期間のプログラムから1学期や1年間以上の長期プログラムの留学制度を設定するなどして、大学等として留学を支援する取り組み。
外部テストの活用	TOEICやTOEFLといった学校の外部で行われているテストを、大学や短期大学の入試や単位認定などに活用する取り組み。
学生の自主活動	正課(大学・短期大学での授業や研究など)以外の活動で、学生や学生団体などが自主的に行う(ボランティア活動は除く)活動。
学びの組織的な支援	学校側が組織的かつ恒常的に学びに対するサポート体制を用意し、授業に対する学生の不安を解消するなどの学びに対する様々な支援をすることで、より学習効果を高める取り組み。
学修成果のフィードバック (学びの支援)	授業や講義などを通して学生が学んだ知識や技術や成績などの「学修成果」を、可視化するなどして学生にわかりやすく還元することで、学生自らの学びへの姿勢を支援する取り組み。
学修成果のフィードバック (学修についての評価)	授業や講義などを通して学生が学んだ知識や技術、成績などの「学修成果」を活用し、学生の学びの振り返りを促すことで、学びの定着を図ることを目的とした取り組み。
学修ポートフォリオ (学びの支援)	授業を通じた学生の学びの過程や成果(学習計画表やレポート・成績表など)を記録し、それら进行评估することで学びの振り返りを行い、学生が自ら学ぶことを支援する取り組み。
学修ポートフォリオ (学修についての評価)	学生が授業を通じた学びの過程や成果(学習計画表や成績表など)を記録し、それら进行评估に活用し、成果だけでなく過程も含めた学修の評価を行うことで、一層の学びの定着を図る取り組み。
学修ルーブリック	表の縦軸に「学習目標」や「何を学習するのか」、横軸に「学生が到達しているレベルを示す特徴を記述した文言」を置いて、学生の学習成果を評価する方法を利用した取り組み。

## 各「取り組み」の説明(要約版)

取 組	内 容
学生アンケートの活用 (学びの支援)	新入生や在学している学生に対し、大学の授業やカリキュラム、学修状況などについてアンケートを行い、その結果を分析・活用して、教育方法やプログラムの改善などに活かす取り組み。
学生アンケートの活用 (学生生活の支援)	新入生や在学している学生に対し、学校の環境や課外活動などの学生生活に関してのアンケートを行い、その結果を分析・活用して、学生生活の環境改善を図る取り組み。
学生の心身に関する支援	心(こころ・精神・メンタル)と身体(からだ)が健康な状態で学生生活を送れるように支援する取り組み。
学生寮 (学生生活の支援)	出身地が遠隔であることや家庭の収入などの経済的な面を入寮の条件としているなど、学生生活をサポートすることを目的とする学生寮を活用した取り組み。
学生寮 (特色ある施設)	特別な教育プログラムを実施するなど、特色ある教育施設としての学生寮を活用した取り組み。
学費負担の軽減 (学生生活の支援)	授業料等の減免や奨学金の支給などにより、経済的に苦しい学生に対して学費の負担を軽くすることを目的とした取り組み。
学費負担の軽減 (経済的支援)	授業料や入学金の減免等や奨学金の支給などにより、経済的に苦しい学生などの学費の負担を軽くする取り組み。
課題解決型学習 (PBL)	プロジェクト活動を通じ、学生が自主的・自律的に課題を発見・解決する過程において、それまでに得た知識を実践的に活用することや、より学びを深くすることなどを目的とした学習方法。
学校間連携	主に高等教育機関(大学、短期大学、高等専門学校、専門学校など)同士がより良い教育や充実した研究活動を行うことを目的に連携協力する取り組み。
科目等履修制度	社会人などのその学校や学部などには在籍していない者に対し、特定の授業科目の履修を認め、正規の学生と同様に授業や試験を行い、単位を授与する制度。
キャリア教育 (学びの支援)	大学や短期大学の学修プログラムの一環として、カリキュラムに社会人・職業人として必要な能力などを身に付けるための科目等を組み入れ、学生のキャリア形成計画や目標設定を支援する教育。
キャリア教育 (進路選択教育の取り組み)	学生に勤労観・職業観及び職業に関する知識や技能を身につけるための教育を行い、自らの個性や適性を理解し、主体的に進路を選択する能力を育てるための教育。
教育内容の体系化とその充実	教育の目的や成果を明確に設定し、その達成のため、各授業間の関連性を明確にするなど、体系的な学びを可能にすることで、教育内容の一層の充実を図る取り組み。
研究施設・設備の充実 (研究活動)	大学の重要な目的である学生への教育と研究活動のうち、研究活動の推進のために建物などの研究施設を建てたり、研究機器などの設備を整備したりする取り組み。
研究施設・設備の充実 (特色ある施設)	大学の重要な目的である学生への教育と研究活動のうち、研究活動のために建物などの研究施設や研究機器などの設備を充実し、特色ある施設・設備にする取り組み。

## 各「取り組み」の説明(要約版)

取 組	内 容
高大連携プログラム	高校と大学の協力により、高校生が大学の学びを体験し、学びに対する意欲を向上させるため、大学の授業への参加や、大学教員の高校での出張講義などの教育プログラムを行う取り組み。
サービラーニング	地域社会における社会貢献活動等を体験するなかで、学んだ知識を社会で実践的に活用し、社会に対する責任感を育むことなどを通じて、より学習効果を高める体験型の学習方法。
産官学連携	大学や短期大学が、産(産業界・民間企業等)、官(政府・地方公共団体等)、あるいはその二者と連携することで、効果的な研究や教育などを行う取り組み。
GPAの活用	科目の成績評価に応じてポイント(例:5段階評価A～Eに対し4～0点等)を付与し、その平均点(Grade Point Average)による学習成果の評価方法を大学や短期大学での教育に活用する取り組み。
資格取得(国家資格受験資格) (学びの支援)	カリキュラムの整備や授業内容の工夫などを行い、学生が正課の授業を受けることで国家資格試験を受験し、合格することを目的に支援する取り組み。
資格取得(国家資格受験資格) (進路選択教育の取り組み)	国家資格試験を受験し合格することを目的に、学校が資格取得講座などを用意し、学生が望む進路を実現するための支援をする取り組み。
社会人教育	社会人を対象とした新たな知識や技術の修得や学び直しに対して、カリキュラムや授業の配慮をするなど学びを支援し、推進することで大学を活性化させることを目的とした取り組み。
就職支援	学生の就職活動に対して大学・短期大学が行う支援やサポートなどの取り組み。
生涯学習	人が生涯にわたり学びや学習の活動を続けていく生涯学習について、大学や短期大学が学びの場や機会を提供するなどの取り組み。
少人数教育	学習効果を高めるために、1人の教員が教える学生数を少なくして授業を行う学習方法。
初年次教育	大学や短期大学の新生を対象に、高校までの学びから、能動的な大学・短期大学での学びにスムーズに移行するための基本的なスキルなどを身につける教育プログラム。
進学支援	進学を希望する学生に対して大学・短期大学が行う支援やサポートなどの取り組み。
成績評価の厳格な運用	明確な成績評価の基準を定めて厳格に運用して、単位取得や進級などを判定することで、教育の「質の保証」を実現する取り組み。
卒業調査の活用 (学びの支援)	卒業生を対象に、就職や進学などの状況や、学修成果の活用状況など、大学での学びの充実度などを調査し、その結果を教育方法やプログラムの改善などに活用する取り組み。
卒業調査の活用 (進路選択教育の取り組み)	卒業生を対象に、在学中の進路選択のための教育内容が就職や進学にどのように役立ったなどについて調査し、その結果を在学生の進路選択の教育に活用する取り組み。

## 各「取り組み」の説明(要約版)

取 組	内 容
多様な研究内容	大学の重要な目的である学生への教育と研究活動のうち、大学が行っている様々な研究活動についての取り組み。
ダブルディグリー	日本と外国の大学の間で、学修プログラムや単位互換等の協定を結ぶことなどにより、双方の大学が必要とする教育課程を履修することで、異なる学位を得ることができる取り組み。
地域連携	大学や短期大学が地域社会のニーズに応え、地域と積極的に関わることで、地域の活性化などに貢献し、地域の各市町村などと連携する取り組み。
中途退学防止 (学びの支援)	学びに対する意欲の減少などを理由に修業期間の途中で学校を退学しようとする学生に対して、学びのサポートを行うことで、教育の問題解決を図り、学びの環境を改善し、中途退学を防ぐ取り組み。
中途退学防止 (学生生活の支援)	学生生活の環境の悪化などの理由で修業期間の途中で学校を退学しようとする学生を把握し、それぞれの理由に対応した学生生活のサポートを行うことで、中途退学を防ぐ取り組み。
TA・RA・SA・メンターの活用	大学院生による教育補助(TA)、大学院生等による研究補助(RA)、学生による教育補助(SA)、後輩を多方面で支援する先輩(メンター)を教育研究活動などに活用する取り組み。
飛び入学・早期卒業・長期履修	より効果的な教育を行うことなどを目的として、通常よりも早い大学への入学や卒業を許可したり、通常の修業期間(大学であれば4年)よりも長い修業期間の制度を作る取り組み。
特色ある教育施設・設備の整備 (学びの支援)	特別な校舎や教室、実習室などの教育施設や教室等にある機器などの設備を整備し活用することで、教育内容やプログラムの充実などに活かす取り組み。
特色ある教育施設・設備の整備 (特色ある施設)	特別な校舎や教室、実習室などの教育施設や教室等にある機器などの設備を整備し、特色のある教育活動を行う取り組み。
入学前教育	入学予定者(主にAO入試や各種推薦入試などで、早期に入学が決定した入学予定者)に対して、入学後の学びの準備や学習意欲の維持などのために、入学前に行う教育。
ボランティア活動	学生が自発的に行うボランティア活動に対して、大学や短期大学が活動の支援や単位認定などをすることにより、学生生活が活性化することを目的とした取り組み。
ラーニングcommons (学びの支援)	学生の自主的・自律的な学習のため、電子情報や印刷物など様々な情報資源を使って議論などができる共有の「学習の場」。
ラーニングcommons (特色ある施設)	学生の自主的・自律的な学習のため、電子情報や印刷物など様々な情報資源を使って議論などができる共有の「学習の場」を持つ施設。
教養・リベラルアーツ教育	幅広い分野の教養などを身につけ、専門知識に偏らない汎用的能力を育成するために大学・短期大学で行われる教育。